

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03 5842 6031 FAX:03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年12月10日 No.19 NPTまであと144日

兵庫県原水協
6・9行動

核兵器廃絶訴え高校生が ダンスパフォーマンス

兵庫県原水協は6日正午、神戸市中央区の元町商店街で、原水爆禁止世界大会が提唱した「アピール/核兵器のない世界を」国際共同行動を訴えて「6・9行動」を行いました。

兵庫県原水協の梶本修史事務局長がマイクで、世界が核兵器廃絶の方向に大きく動いていることを明らかにし、「今、核兵器のない世界を実現する絶好のチャンスです。来年のNPT再検討会議に向けて1200万の署名を集めて後押ししましょう」と訴えました。

高校生平和ゼミナールのメンバー3人がダンスをしながら、「NPT再検討会議に高校生の代表を送るために募金を」と訴えました。「ダンス

ヒーローズ」と銘うったグループのパフォーマンスに、ルミナリエ(神戸市で行われているイルミネーション行事)に訪れた観光客などが足をとめて、募金と署名に応じました。

参加した中央区原水協、平和委員会などの「核兵器のない世界を」署名にも次々と応じ、1時間足らずで74人分の署名が寄せられました。



ダンスをしながらNPT再検討会議代表派遣の募金を訴える
兵庫県高校生平和ゼミナール「ダンス ヒーローズ」

試験終了の中高生も積極的に署名



「核兵器は絶対になくさなきゃ!」と言って署名する女性や、「有馬頼底さんのファンなんです」と話す人、期末試験が終わった制服姿の中高生など、そこかしこで積極的に署名する姿が見られました。

福島から東京に住む息子の所に遊びに来たという女性は「家族の分も書いてもいいですか?」と5人分の名前を書いてくれました。また、スーツ姿の若い男性は署名したあと「長崎出身です」と言いながら1000円札を募金してくれました。

行動には19団体から51人が参加し、核兵器のない世界を署名が113筆、カンパが3378円寄せられました。

19団体50人超で「9の日」宣伝

日本原水協は12月9日、新宿駅西口で憲法改悪反対共同センターとともに、新宿西口で合同「9の日」宣伝を行いました。大黒作治・全労連議長、西村富佐多・東商連会長、高草木博・日本原水協事務局長、荻原淳・東京自治労連中央執行委員長、高田公子・新婦人会長、瀬田宗一・東京土建中央副執行委員長、笹本潤・自由法曹団常任幹事、児玉洋介・都教組中央執行委員長、長瀬文雄・全日本民医連事務局長が交代でマイクを握り、署名を呼びかけました。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。

NPT 要請代表らが県庁で「県民への署名の訴え」発表 徳島



記者会見に臨む徳島県原水協代表

徳島県原水協は12月9日午前、県庁で「核兵器廃絶国際署名にご協力を」と県民に訴える記者会見をしました。これには服部敏彦・中内輝彦代表理事と来年のNPT要請行動に参加予定11人のうち、7人が出席しました。

服部代表理事から配布した「県民への訴え」説明に続いて「私も親も戦争体験がないが、沖縄と広島

に行って基地や原爆をなくすべきだと思いました」、「3・1ピキニデー、原水爆禁止世界大会に参加し、NPTに訴えようと、署名を800筆集めています」、「父が戦死、戦争や原爆で子どもたちが犠牲にならないよう頑張りたい」、「長崎の被爆者、谷口稜暉(すみてる)さんに聞いた話を世界の人に伝えたい」、「2005年NPTに参加したが実らなかった、北朝鮮の核開発をやめさせるためにも禁止条約を求めたい」などNPT代表からそれぞれ発言がありました。

記者からは署名の集め方や被爆者訪問の状況、ニューヨーク要請行動の具体的内容など質問があり、その場で署名する記者もいました。徳島県原水協は広く県民の協力を得て、12月の署名・被爆者訪問活動、原爆写真展などに取り組む決意を表明しました。

NPT代表を先頭に6・9行動 岡山

岡山県原水協は12月6日、午前10時30分より1時間、岡山駅前で12月度の6・9行動をおこないました。行動には、NPT再検討会議要請行動に参加を予定している6人の代表も参加しました。

県原水協中尾代表は「来年5月、ニューヨークで開かれるNPT再検討会議で、核兵器のない世界へ具体的な一歩を踏み出させるために被爆国日本の声を届けましょう」と訴えました。

NPT代表として行動に参加した前田尚子さん(薬剤師)は、「広島から旅行で来たという若いカップルが快く署名してくれ、『頑張ってください』と励ましてくれ嬉しかった」と話していました。また岡崎加奈子さん(高梁原水協)は「署名して下さった中に、『父が被爆者です』と言われた方がいて、核兵器がいかに多くの人を傷つけたかを感じた。とても寒かったが、足を止めて手がかじかむ中ご署名下さった方々の一筆一筆を大切にしたい」と話していました。行動には11人が参加し、66筆の署名が寄せられました。

県原水協は1月9日(土)Am10時30分~、2月6日(土)、3月6日(土)いずれも午後1時~NPT代表を先頭に宣伝行動を計画しています。



寒さが身にしみる中、市内で6・9行動 長野

しんと寒さが身にしみる中、長野県原水協は12月9日、長野市内で6・9行動を行いました。

1人で13筆集めた人もいて、「ご苦労さん」と声をかけてくれる人もいました。なかには、「核は必要!」と声を大きくして逃げるように通る、娘の手を引いた中年男性も -。

お昼休みの行動には13人が参加して、署名51筆、100円のカンパが寄せられました。

「私も一緒に行動したい」と申し出る人も一鹿児島

鹿児島県原水協は12月6日、鹿児島市天文館で6・9行動を行い、11人が参加しました。「私も一緒に行動したい」と申し出てきた方もいて、署名が230筆寄せられました。

